

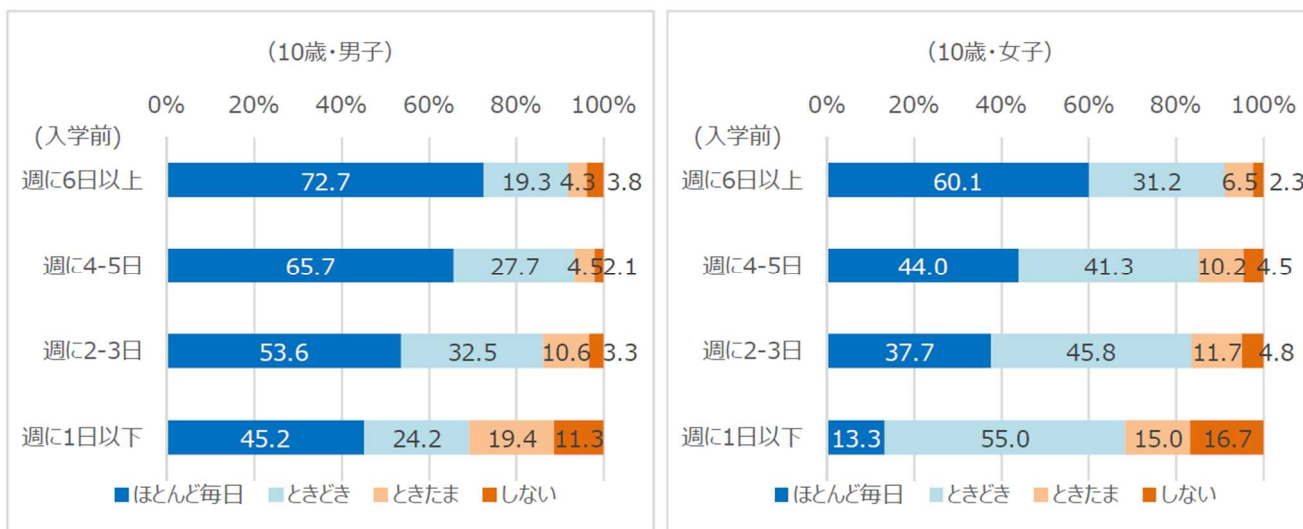
# 令和5年度 総合型選抜 課題探究型 総合考査【幼児教育保育コース】

試験時間：60分

生涯を通じて心身ともに健やかな生活を送るためには、幼少期からの運動・スポーツとの日常的なかかわりが重要となってきます。特に幼児期（1歳から就学前まで）に、遊びを中心とした身体活動を楽しみ伸び伸び行うことは心身の様々な機能の発達が促されるとともに、その後の運動習慣を身に付けることにつながるともいわれています。

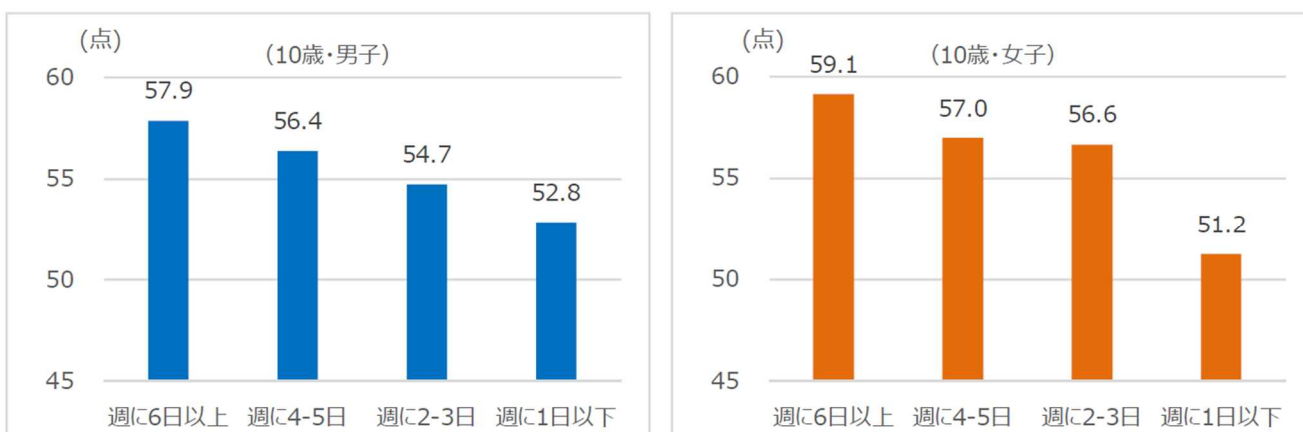
<図1>と<図2>は、幼児期の外遊びの頻度と小学生になった現在の運動習慣および体力との関係について示したものです。以下の問いに答えなさい。

- 問1. <図1>と<図2>からどのようなことが読み取れますか。読み取った内容について述べなさい。（300字以上400字以内。横書き）
- 問2. 問1で読み取った内容を踏まえ、<図1>と<図2>に示す結果となったその理由について、あなたの考えを述べなさい。（300字以上400字以内。横書き）



<図 1> 入学前の外遊びの実施状況別現在の運動・スポーツ実施状況（10歳）

【質問内容】「小学校入学前はどのくらい外で体を動かす遊びをしていましたか」



<図 2> 入学前の外遊びの実施状況別新体力テスト合計点（10歳）

出典：「平成 28 年度体力・運動調査結果の概要及び報告書」（スポーツ庁）

[https://www.mext.go.jp/prev\\_sports/comp/b\\_menu/other/\\_\\_icsFiles/afieldfile/2017/10/10/1396897-5.pdf](https://www.mext.go.jp/prev_sports/comp/b_menu/other/__icsFiles/afieldfile/2017/10/10/1396897-5.pdf)